

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団			
○保護者評価実施期間	2024年12月2日 ～ 2024年12月27日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数)	28
○従業者評価実施期間	2024年12月2日 ～ 2024年12月27日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	14
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	強度行動障害の基礎研修受講者が15名中11名受講しており、 他所内研修を年に10回行っている。所内研修では、特別 支援学校の教師、性教育のスペシャリスト、作業療法士会から 先生をお招きして、様々な角度から学びの場を作っています。 また、生活介護・就労施設の見学会も昨年は4度実施してお り、多職種連携に意欲的に取り組んでいます。	様々な視点で課題を捉えられるよう、様々な職種の方から話 を聞いたり、意見交換できるよう心がけています。また、知識 や支援技術が向上していけるよう日々のミーティングなどでも 学びの機会を作るようにしています。また、保護者参加型の研 修会を開き、保護者の学ぶ機会、意見交換できる場を提供して います。	様々な放課後等デイサービスとの交流を図り、同じような課 題に対しての取り組み方などの意見交換などの場や、福祉の 現場の垣根を超えたネットワークを作っていきたいです。 その為、他法人の研修会に参加したり、性教育のサークルに 参加しています。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	古民家を借りて、当事業所を運営していることもあり、段差が 多く、借家である為バリアフリー化がなかなか難しい部分があ ります。	借家である為、簡単に改修する事が難しい。	段差のある部分や危険になりそうな部分にテープを貼るなど の工夫をしております。
2			
3			